





こんげつ

# 今月のいいね!

## ノーベル賞 & ひつじの本

2016年12月、ノーベル賞授賞式が行われました。

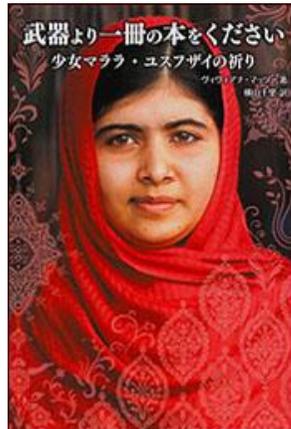


ノーベル生理学・医学賞は、大隅良典さんが日本人として3年連続の受賞となりました。

### ー ノーベル賞に関する本を3冊紹介 ー

『武器より一冊の本をください』

ヴィヴィアナ・マツア 著/横山千里 訳/金の星社



わたしが勉強したいという思いを、銃で撃つことはできないー。

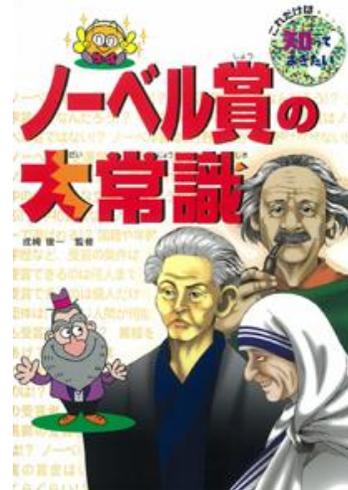
2012年10月9日、15歳の少女が通学途中で銃撃にあった。少女の名は、マララ・ユスフザイ。ただただ、勉強がしたいと願う少女だった。奇跡的に生き抜くことができた一人の少女が、今、全世界に訴える。「すべての人に平和と教育を。教育こそただ一つの解決策」。

『キュリー夫人』

伊東信 文/ポプラ社



夫とともに研究に励み、ラジウムを発見したキュリー夫人は、女性で初めてノーベル賞を受賞。2度のノーベル賞にかがやいたキュリー夫人は、いつも人々の幸せを願って研究を続けた科学者でした。



ノーベル賞の大常識  
戎崎俊一 監修/ポプラ社

「ノーベル賞の賞金っていくら?」という素朴な疑問から、受賞者の生い立ちやエピソードをまじえて紹介した、楽しい学習読み物。知っていると得するノーベル賞のひみつを徹底攻略!

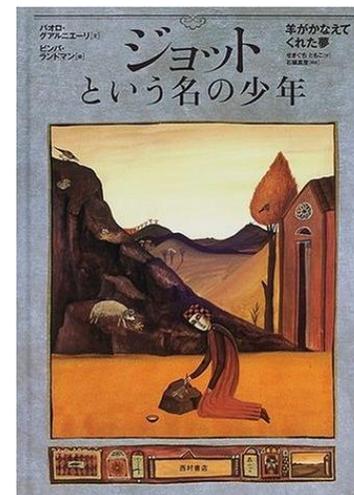


『ひつじくものむこうに』

あまんきみこ 作/長谷川知子 絵/文研出版

雲のむこうへ行ったことがある?そこには“くもひつじ”たちがいっぱいいて、雲のかくれんぼをしているよ。

ファンタジックな絵本☆



『ジョットという名の少年』

パオ・ガルエーリ 文/ビョウ・ランドマツ 絵/西村書店

今から700年くらい前に活躍し、「ルネサンス」の出発点にたつと考えられるイタリアの画家・ジョット。天才ジョットの少年時代の物語「羊の伝説」を描くアートな絵本☆